



一般質問

村川 四郎 議員

島づくりの方向転換をすべき



【質問】 エコアイランド構想は小さい島ならず成果が出るが佐渡は広く、労働多くして成果も不明である。先人の歴史、芸能、文化遺産を継承することが佐渡の個性と魅力である。縮小してきた地域イベント予算を復活させた地域住民の元氣策こそが魅力ある島となつて観光誘客にもつながるのではないか。

【市長】 佐渡は、古来より貴重な民俗芸能や伝統的行事を大切にしてきた。当然この文化を無視して次の世代へ生き残る道はない。環境という言葉は一つの大事なキーワードであり5年続けて発信してきた。この価値は形では見えず、金額ではわからないけれど、今後の産業振興に大きな力を発揮する。文化伝統と相まって佐渡独自の経済発展を■つていく。

【市長】 佐渡は、特に雇用、就業の場、若者の定住へ不満を感じていることが解つた。佐渡の魅力と豊かな自然を生かし、あらゆる産業を連携させて、新たな産業を興し、若者にも魅力を感じる雇用、就業の場を確保したい。

【質問】 いつまでも行動が見えないこの島の決定地名について、「サドシマ」使用が拡大している。■土地理院の来島を無視した市の怠慢行動はなぜか。

【市長】 決定地名は、■土地理院と海上保安庁との地名統一連絡協議会で審議して一致した地名と認識する。

【質問】 市民アンケート調査の■的は何か。調査による収穫と問題点、今後の施政にどう生かすのか。

【市長】 総合計画の後期基本計画や将来ビジョンに反映するために実施した。結果から市民



一般質問

小山 純一 議員

市民目線を大切にした行政運営を



【質問】 温泉施設の民間譲渡や空港整備等、情報開示や説明責任を果していない行政手法への不信と反発の声がある。市民との乖離（かいり）をなくす組織づくりが必要であるが。

【市長】 新設する「島づくり推進課」を通じて、市民との意思疎通や交流等を進めていきたい。

【質問】 温泉施設の民間譲渡後にも利用者参加の運営委員会設置等の検討を。

【市長】 1万9000人の署名市民の声に応え、温泉施設民間譲渡後も利用者参加の運営委員会設置等の検討を。

【市長】 利用者・譲渡者・市の三者で意見交換する場を設定したい。

【質問】 介護施設入所待機者の早期解消に向け、整備計画の前倒し、公設民営や民間施設整備への補助率アップ等集中した施設整備を。

【市長】 県と相談し民間参入も含め解消していきたい。

【市長】 県と相談し民間参入も含め解消していきたい。

【市長】 県と相談し民間参入も含め解消していきたい。

【市長】 今■を機に市民として

【市長】 今■を機に市民として

【市長】 今■を機に市民として



小獅子舞（小木地区）

結果から市民

結果から市民

結果から市民

結果から市民



※トレーサビリティ：物品の流通経路が生産から消費まで確認できること。



一般質問

田中文夫 議員

51億円の経済対策に

効果があるか



【質問】平成22年度予算は実質420億3000万、プラス繰越分51億6000万、約471億円で設定されていると考える。そのお金をつぎ込むわけだがどういう形の影響が出てくるのか。

【副市長】例えば米の所得補償をやった場合にいくらの所得増になるかというような計算をして、これを積み上げていくべきと言われているのだと思うが残念ながら行っていない。平成22年度の組織改正で施策の進行管理をする部署を設けたので、もう1年待っていたきたい。

【質問】佐渡市の存在価値を、県に知らしめる事業があるか。

【市長】環境にやさしい島づくりの取組みが評価され、先月、環境大臣賞を受賞した。佐

渡版別所得補償、トキふれあい施設、原生林トレッキングコース等々により、生物多様性により高まりつつある佐渡ブランドイメージを高めていくというのが基本的な政策である。

【質問】市単独事業が増えたが、継続的に実施する財源の処があるのか。

【財政課長】佐渡市将来ビジョンで示しているように、人件費始め、定期的な経費の改革を行い、成長力戦略と併せて市単独事業を確保していきたい。

【質問】佐渡市の根になる事業が農林水産業というにしては、市総所得の5%程度では、幹も枝葉も細るだけではないか。



【副市長】

確かに、5.5%ではあるが、将来的な食糧不足やCO₂削減などに対して農林水産業の持っている役割というのは非常に大きい。また、産業間の生産波及力を高めるベースは農林水産業である。地産地消条例や所得補償で農業の担い手を育てなければいけない。



一般質問

加賀博昭 議員

佐渡市の勇断が

地権者との決裂を回避した



【質問】初回の答弁で現滑走路を手直しして使う場合の費用調査をすると市長は危険な答弁をしたが、滑走路の延長はできないはずだ。

【交通政策課長】その場合は加茂湖の中に850m延長が必要。

【質問】そのとおりで佐渡空



首都佐渡人会でのあいさつ

港は2000m化しかない。県が平成5年の水10a当たり500万円を200万円に下げたことで市が差額の上乗せを約束したから地権者との決裂は避けられたが、新聞等の批判に対しては私が内容証明で反論したことで、2月27日付けの新聞論調は「市の禁じ手」批判から「県の対応は義務放棄」と県批判に変わった。市長の感想を聞きたい。

【市長】特別編集委員の村教授の記事は、佐渡空港は県が責任を負う県営空港であることを具体的に明らかにした上で「空港問題の本質を突いた明快な記事」で加賀議員が間違った新潟報に抗議されたご苦労に感謝したい。

【質問】職員の「給食代内訳簿」の記録が9月分はゼロ

になっている。このことで院長先生は2年も前から会計のわかる職員配置を要望したが聞いてくれないと言うが。

【市長】会計処理に誤りがある。事務処理に万全を期すよう指示をした。

【質問】県警は佐渡の警察署の統合に佐和町役場に■をつけていると聞く。これを売って合併特例債（■が7割負担）を使えば市役所はただで建つことになる。検討すべきだ。

【市長】警察庁金用地の一つに佐和町役場の検討があると思うが、正式には取得等の申し入れはない。あれば対応していく。



一般質問

岩崎 隆寿 議員

町並み保存団体との協働について



【質問】 近年、町並み保存団体が各地で活発な活動を行っているが、行政との協働について、どのように考えているか。

【市長】 相川地区の「京町通りを守る会」など現在10団体程度あり、さまざまな活動を行っている。町並みネットワークを結成し、行政も積極的に支援したい。

【質問】 冬期間の学生バスの規制緩和について。

【教育次長】 地理的な特殊事情により、市が認めた場合距離に関係なく援助する。

【質問】 地産地消について、青果物の給率の目標値は。

【市長】 現在の6%から目標給率を12%に増やしたいと考えている。

【質問】 二見港の施設拡充は。

【市長】 港湾の統合計画の中で機能向上を図っていく。

い。

【質問】 両津港北埠頭開発には、にぎわい空間創出事業を取り入れてはいかがか。

【市長】 やる気のある方々と協議をしながら進めていきたい。



相川地区京町通りの町並み



一般質問

佐藤 孝 議員

温泉施設民間譲渡について



【質問】 温泉施設の譲渡条件が3年間の指定管理相当額の補助と、5年後に市へ建物を返還できるとした経緯は。

【市長】 温泉施設としての機能を残したまま、スムーズに民間譲渡ができる形で組み立てをした。

【質問】 先に譲渡している2件の温泉施設、ゆとりびあ真野とおぎの湯も今も同様

の条件に見直すべきでは。

【市長】 きつちり検討するよう指示をしてある。

【質問】 防犯灯をLED照明に変えるとのことだが、10年の長寿命であるなら、修理費用を地元に負担させるべきではないと思うが。

【市長】 1年の結果をみて市民との話し合いの組み立てを考え直したい。

【質問】 夜中の災害時対策として、ソーラー式LED照明を導入し、避難路や避難場所に設置したらどうか。

【建設課長】 今後は地方公共団体対策技術率先導入補助事業というものが1/2補助のものがあるので考えていきたいと思う。

【質問】 生涯学習を市長部局へ持っていくべきだと思うが。

【教育次長】 全般的に生涯学習が市長部局へ移っているというような理解はしている。来年度検討したい。

【質問】 平成21年度の佐渡汽船航送料等の割引による社会実験後の検証と今後の取り組みは。

【企画財政部長】 今年4月から予定しているものは、航送料割引、土・日・祝日出発限定で、6m未満の乗用車往復について両津・新潟間を2万8000円、小木・直江津間を1万7500円とするもので、8月1日まで実施することであり、昨年度の社会実験をふまえて事業者も独断にやるようになった。



おぎの湯



一般質問

廣瀬 擁 議員

放置されている 危険老朽家屋の所管は何課か



【質問】各地に放置されている危険老朽家屋については、原則的には所有者が管理すべきであるが、住民から何十年も放置されていて所有者がわからない、連絡が取れないと相談がある。担当課はどこか。

【市長】少子高齢化に伴い、急激に過疎化が進んでいる。集落内に空き家が増加し、所有者も島外に在住し、防

犯、防災などで管理ができない。やろうと思っても所有権の問題で手がつかれない。22年度には各課横断的に実態を調査し、一体となった対策に取り組む。

【企画財政部長】すぐにやるかやらないかの判断はできないが、■を向けなければならぬ問題であり、しっかりと調査研究していきたい。

【質問】市が職員組合に対し、佐渡トキマラソンへのボランティア依頼をしたところ、「ボランティアの名を借りた強制労働」だと協議は不調に終わったとのチラシを■にしたが。

【質問】検討中とは、どこも管轄するところがないというのか。これでは、

たらい■しになる状態だ。早急な対応策は。

【企画振興課長】現在のところ空き家を直接把握する部署はないが、プロジェクトチームのような形で各課が集まり、どのような方策がとれるのか一■の会議を持つたばかりである。



金銀山散策路上に放置されている危険老朽家屋

【質問】市主催の行事に職員が積極的に参加し、そのほかに市民のボランティアを募るのが本筋と考えるが。

【市長】職員にこのことの意味合いをきっちり話すつもりである。



一般質問

本間 千佳子 議員

社会的弱者が 安心して暮らせる政策を



【質問】平成22年度施政方針のはじめに、「歳出の削減は子どもや高齢者など社会的弱者への配慮をしながら、人件費や物件費の徹底した行政改革を進める」とあるが、基本的な考え方は。

2012年に予定される介護保険法改正に生かしていきたいと考えている。12月定例会で高齢者福祉のプロジェクトチームの立ち上げを訴えたが、その後の取組みは。

【市長】歳出削減にあたっては、引き続き行政改革を進める必要がある。一方、少子高齢化の現状を考えた場合、社会的弱者への各種福祉予算に配慮したい。特に子どもや親子が気軽に集る居場所を望む声が多いことから、子どもの居場所づくり創設支援事業などを新規に実施する。

度は乗り換えしても病院まで200円で行ける仕組みを実証実験する。

【質問】■本では介護保険制度が1997年にできた。公明党は昨年11月から12月にかけて介護総点検を行い、要介護者・介護家族・介護従事者・施設従事者・市区町村等に調査をした。

【質問】人■も予算も少ない秋■県上小阿仁村では、特例住宅介護サービス費支給制度を取入れ、離島や山間地等の特典をたくみに素早くキャッチしている。佐渡の状況をたずねる。

【質問】離島の特典メニューを探し、佐渡市の政策にあてはめる意気込みはいかか。

【企画財政部長】離島関連予算があり、佐渡市にとって使えるかどうかは当然やっているが、何を政策課題として備えているかが必要で、その両方をしっかりやっていきたい。

給事業の見直しを行ない、対象者の拡大をはかる。新たな事業で、医療・福祉・介護が連携した拠点づくり、コンパクトシティ構想に着手する。交通インフラでは、両津地区で実施しているが、何を政策課題として備えているかが必要で、その両方をしっかりやっていきたい。

全島の75歳以上を対象に1乗車200円で4■利用できるサービスに変え、新年

秋■県は特例で、これ以降の分は認める方針ではないと聞いている。